

3月定例会

3月議会定例会が3月8日から25日までの18日間の会期で開会され、下記の議案について審議しました。

石川町長は平成23年度の所信表明を行いました。詳細については広報あいずみ4月号に掲載しています。

町長提案

- 平成22年度藍住町一般会計補正予算について……………原案可決
- 平成22年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)補正予算について……………原案可決
- 平成22年度藍住町特別会計(老人保健事業)補正予算について……………原案可決
- 平成22年度藍住町特別会計(介護サービス事業)補正予算について……………原案可決
- 平成22年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)補正予算について……………原案可決
- 平成22年度藍住町特別会計(藍寿苑介護サービス事業)補正予算について……………原案可決
- 平成22年度藍住町特別会計(下水道事業)補正予算について……………原案可決
- 平成22年度藍住町特別会計(水道事業)補正予算について……………原案可決
- 平成23年度藍住町一般会計予算について……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)予算について……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計(介護保険事業)予算について……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計(介護サービス事業)予算について……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)予算について……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計(藍寿苑介護サービス事業)予算について……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計(下水道事業)予算について……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計(水道事業)予算について……………原案可決
- 藍住町税条例の一部改正について……………原案可決
- 特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について……………原案可決
- 藍住町特別会計条例の一部改正について……………原案可決
- 藍住町住民生活に光をそそぐ基金条例の制定について……………原案可決
- 町道の路線認定について……………原案可決
- 町道の路線変更について……………原案可決
- 定住自立圏形成協定の締結について……………原案可決

報 告

- 平成23年度藍住町土地開発公社の事業計画について

議員提案

- 議会議長の辞職について……………原案可決
- 議会議長の選挙について……………永浜 茂樹
- 議会運営委員会委員の辞任について……………原案可決
- 議会運営委員会委員の指名について……………森 志郎
- 板野西部青少年補導センター組合議会議員の選挙について……………永浜 茂樹
- 「独立行政法人・地域医療機能推進機構法案」の提出・成立を求める意見書について……………原案可決

新議長決まる

3月8日の定例会において議長の改選があり、議長に永浜茂樹氏が就任しました。

議長就任のごあいさつ



議長
永浜 茂樹

このたび、議長という重責を務めさせていただくことになりました。身に余る光栄でありますと同時に、責任の重大さを痛感いたしておるところでございます。

3月11日に発生した東日本大震災は、広範囲で甚大な被害をもたらしています。犠牲になられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様の心のケアも含め、早期の復興をお祈り申し上げます。

国・地方ともに財政状況は依然として厳しい状況にあり、藍住町においても同様に厳しい財政環境の中ではありますが、防災対策をはじめ、少子高齢化への対応、教育、文化や福祉の充実、生活環境の整備など、多くの課題に取り組んでいかなければなりません。

議会の円滑な運営はもとより、藍住町発展のために一生懸命取り組んでまいりる所存でございます。今後とも皆様方の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

議長の改選等に伴い、一部委員会や組合議会などの改選が行われました。

- 議会運営委員会……………副委員長 森 志郎
- 建設産業常任委員会……………副委員長 奥村 晴明
- まちづくり特別委員会……………副委員長 奥村 晴明
- 議会だより編集委員会……………副委員長 矢部 秀行
- 板野西部青少年補導センター組合議会……………永浜 茂樹

平成23年度一般会計予算 100億円 前年度当初予算対比17.5%増額

主な予算 (1万円未満切り捨て)

総務費

- ◆ 議場放送設備改修費…………… 1,600万円
- ◆ 徳島県知事選挙及び県議会議員選挙費
(平成23年度分経費)…………… 1,039万円
- ◆ 藍住町議会議員選挙費…………… 1,025万円
- ◆ 木造住宅耐震診断・改修支援事業・防災対策費等
…………… 2,090万円

民生費

- ◆ 後期高齢者医療費(療養給付費負担金)
…………… 1億9,413万円
- ◆ 重度障害者医療扶助事業費…………… 7,599万円
- ◆ 障害者自立支援給付費…………… 3億910万円
- ◆ 障害者地域生活支援事業費…………… 5,983万円
- ◆ 子ども手当事業費…………… 9億360万円

衛生費

- ◆ 予防接種委託料…………… 8,268万円
- ◆ 乳幼児等医療扶助費…………… 1億5,600万円
- ◆ 西クリーンステーション管理費
…………… 4億1,845万円
- ◆ 中央クリーンステーション管理費
…………… 1億5,019万円

農林水産業費

- ◆ 一般排水路改良費(排水路対策調査費を含む)
…………… 2,912万円
- ◆ 地籍調査事業費…………… 777万円

商工費

- ◆ プレミアム商品券発行補助金…………… 800万円
- ◆ 商工会補助金…………… 600万円

土木費

- ◆ 道路維持費…………… 1,316万円
- ◆ 道路簡易舗装費…………… 4,507万円
- ◆ 一般町道新設改良費…………… 2,865万円
- ◆ 橋梁長寿命化計画策定委託料…………… 300万円

消防費

- ◆ 板野東部消防組合負担金(常備)
…………… 3億8,316万円

教育費

- ◆ 適応指導教室費…………… 799万円
- ◆ 北幼稚園・北小学校駐車場整備費
…………… 7,200万円
- ◆ 藍住中学校北校舎改築事業費
…………… 14億2,500万円
- ◆ 新町民体育館設計業務委託料 5,000万円

平成22年度3月補正予算(会計別)の状況

(単位：円)

会計名	補正額	補正後の額	
一般会計	4億5,400万	91億5,200万	
特別会計	国民健康保険事業	△40万	28億3,000万
	老人保健事業	△390万	370万
	介護サービス事業	1万	1,161万
	後期高齢者医療事業	△1,910万	2億90万
	藍寿苑介護サービス事業	300万	2億5,930万
	下水道事業	△800万	2億8,700万

平成23年度予算(会計別)の状況

(単位：円)

会計名	予算額	前年度当初予算対比	
一般会計	100億	17.5%	
特別会計	国民健康保険事業	27億8,200万	3.0%
	介護保険事業	18億8,720万	3.9%
	介護サービス事業	1,200万	3.4%
	後期高齢者医療事業	2億800万	△5.4%
	藍寿苑介護サービス事業	2億5,300万	△1.2%
	下水道事業	3億1,400万	6.4%
	水道事業	収益的支出	4億3,064万
資本的支出		1億4,461万	△44.9%

総体質問

問 ごみ袋の仕入額が高いのはなぜか。入札で業者を決めたのか。

答 ごみ袋の形状を持ちやすい形に変えたことで製造価格が高くなったことと、外国製は品質が安定しないため国内産にこだわったことなどによる。業者は数社から見積もりを徴収し決定している。

問 各学校の楽器等の買い換えについて説明を求め。

答 各学校の年次計画により要望があるが、高価なものが多いため財政状況により予算計上している。

問 建設予定の藍中プールについて夏休み中に一般開放はどうか。

答 学校安全面から部外者を立ち入り禁止としている。また、水深があり幼児等には危険が伴うことから一般開放は難しいと思われる。

問 平成23年度予算における保育所総務費の前年度との比較について

①正規職員の人件費減少の理由は。

②臨時雇賃金が増額しているが、臨時職員の採用数は。

答 ①正規職員5名の退職に伴い減少している。
②加配・緊急雇用のため8名分を増額している。

問 乳児世帯に対するごみ袋の無償交付について昨年の実績は。

答 平成21年度で344件、平成22年度は267件に交付している。

問 東日本大震災を受けて藍住町の非常食の備蓄数は。

答 県からの依頼で備蓄する非常食の大半を宮城県へ送ったため、現在の備蓄数はアルファ米1千食・餅等で約500であり、早急に購入して備蓄し、もつと数を増やしたい。

問 幼稚園・保育所の正規職員採用の予定は。

答 平成23年度と平成24年度が1名、それ以降は毎年2名ずつ定期的に採用する予定。

問 防災井戸水質検査の検査件数は。

答 平成21年度が23件、平成22年度が15件。

問 定住自立圏構想協定締結に関し、藍住町としての具体的な構想は。

答 徳島市との関係では、消防署の遠隔カメラの映像の受信、情報システムの共有化などを考えている。

定例会案内

次の定例会は6月です。
次号は8月に発行します。

●お問い合わせ●
議会事務局 ☎637-3127

震災時の救援体制は万全か

従来の対応策を再検討

問 今回の東北大地震は、原発事故拡大につながり人智を越えた甚大な被害となった。今後の地震対策は認識の变革が要求される。本町においても南海地震発生60%が予測されており、震災時の職員の参集計画や食料の備蓄、避難所の仮設トイレの確保整備、救援物資調達のための企業協定などについて伺う。

答 職員の招集については携帯電話メールを利用した職員非常招集訓練を行い災害時に備えている。備蓄食糧はアルファ米4千食、餅・豚汁など300食で、この度完成した耐震性貯水タンクの飲料水は給水にも利用可能である。

仮設トイレはレンタル業者等との災害時の応援協定の締結などを考えている。

また町内の9団体・業者と物資提供の応援に関する協定を締結し、食糧品などを確保するようにしている。

環境問題

～粗大ごみ受け入れ手数料の見直しを～

手数料の見直しを検討

問 近隣の山や道路脇への不法投棄が後を絶たない現状は、粗大ごみ処理費用が原因と指摘する人もある。西クリでの受け入れ1品500円は周りの市や町と比べ、かけ離れた高額となっている。手数料の見直し、また、体の不自由な高齢者等に対するごみ収集サービスの現状と、粗大ごみ持ち込み困難者に対する対応を伺いたい。

答 他の市町の収集方法や処理金額の状況を踏まえた上で手数料の見直しを検討したい。

粗大ごみ持ち込み困難な高齢者世帯へは町が収集を行っている。また一般ごみも、介護が必要な独居老人の方については申請により個別収集を行っている。



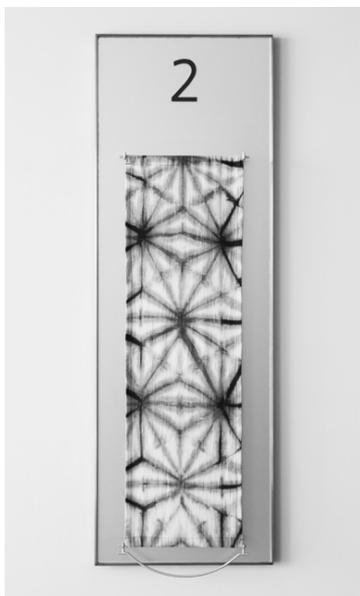
西川 良夫 議員

地域活性化の推進 地道な普及・啓発活動を

問 日本の中世史上重要な城跡として知られる勝瑞城跡は、当時、藍染の原料でもあるすくも作りが盛んに行われ、阿波の国の中心拠点として隆盛を極めていたと伝わっている。他に類のない独特の青色は、阿波藍の世界に誇れる特長でもある。この歴史文化の振興は、本町の更なる文化意識向上、地域活性化も期待できる。また教育現場での活用についても伺いたい。

答 平成24年度国民文化祭が再び徳島県で開催されることになった。今後は勝瑞城館跡と阿波藍を相互連携させ、今までの以上にその魅力を発信していきたい。

町内小学校では社会科副読本「私たちの町藍住」を使用し、藍と勝瑞城について学習している。また「藍住歴史かるた」と解説書を作成し各学校に配布した。郷土の歴史について、より理解を深めるため活用されるものと思われる。



庁舎エレベーター前の藍染タベストリ



藍住西保育所

新規採用を抑制して年齢構成 是正はできない

効率的な財政運営を目指す

問 保育所の民営化は「保育士の年齢構成のゆがみ」が理由ならば、7年間も新規採用をしなかった人事の責任である。他の部門でも年間2〜3人の採用では将来、必ず業務に支障が生じると考える。理事者は他の部門の民営化を考えているのであれば保育所より先に民営化をするべきである。町の重要な事業を民営化してはならない。

答 財政健全化に向けて人件費削減は避けて通れない。民間移管を進めるとともに正規職員を定期的に採用し、年齢構成のゆがみを是正したい。民営化の優先順位は定員管理計画や行財政改革基本計画を基に実施しており、保育所のほかにも保育所給食調理業務・藍寿苑等の民営化を予定している。またすべての組織体制・事務事業などの見直しを進めている。



喜田 敏夫 議員

保育所の民営化は 町民への裏切り

幼保一元化の理念は継続

問 「藍住町就学前児童対策検討委員会」など、いろいろな町長の諮問機関からの答申でも、藍住町の子育て支援としての幼保一元化は大きな評価をしている。保護者からの評価も高く、人口増の大きな要因となっていること。町長はしていることと、言っていることが違うのではないか。

答 保育所民営化にあたって、これまでの保育サービスの一層の充実に加え、新たなサービスの導入を図り、認可保育所においては3歳まで、4歳からは幼稚園でという一環とした保育・教育を行うという藍住町の幼保一元化の理念は継続するよう取り組んでいきたい。

公設、公営だからこそ 守れる幼保一元化

保育サービスの向上のための
民間移管である

問 国の施策に「こども園」構想があるが、正に藍住方式の幼保一元化を目指している。藍住町は保育所運営を放り投げて「民営化」しようとするのは、国の方針に逆行している。民営化しても「幼保一元化の理念は継続していく」と言うが、公設、公営だからこそ継続できるのであって、民営化では継続できない。

答 民間移管を行っても、保育料や入所の決定、保育料徴収などは町が行う。民間移管することで、保育所間の切磋琢磨が促され、町全体の保育の質やサービスが向上すると考えられる。保護者や関係機関の意見をもとに子供の最善の利益を最優先に考え、保育サービスや子育て支援策の更なる充実を目指していきたい。





春にんじん収穫の様子

排水の 抜本的対策について

排水路の改良計画を
樹立する

問 近年の異常気象の状況下、昨年は12月2日夜半から3日未明にかけて強い雨が断続的に降り、町内各地で藍住町ひいては本県を代表するブランド農産物である春にんじんのトンネル圃場が冠水や浸水の被害を受けた。さらに、道路の冠水や工場、住宅の敷地内が浸水する被害があった。



答 町内各地の排水路、主に幹線水路の容量不足に対する具体的な改善計画については、平成23年度予算に調査費を計上している。排水能力や系統等を検証し、今後想定する雨に対して、どの程度の安全度を確保する必要があるので検討し、全町を対象に排水に関する基本構想を構築したい。



古川 義夫 議員

法定外公共物の維持管理について

除草等については地先の方の協力を得ながら対応したい



問 平成17年に法定外公共物に係る国有財産の譲与を受けた後の赤線(農道)等の維持管理はどうなっているのか伺いたい。

答 赤線は、町内いたるところに存在し、町としては余り管理できていない。特に除草等についてはそれぞれの地先の方に管理をお願いしているのが実情である。

基本的には通行のない赤線については払下げを第一に考えている。住民の方が頻繁に通行する場所においては、簡易舗装を行うなど予算を視野に入れた中で対応している。また、町の直営による草刈りや草押さえの防草シートの設置、通水性の土による簡易舗装等も状況に合わせて実施している。今後も地先の方の協力を得ながら対応したい。



パークゴルフ場

収入見込みが過大の パークゴルフ場

今後の検討課題とする

問 町民の健康増進のためにパークゴルフ場を建設した。

計画段階から採算のあわない事業であり、しかも収入見込みも過大であった。

①当初の事業計画に対し入場者数と財政状況はどうなっているか。
②4年目以降は委託先が委託料なしで運営する計画であったが、財政支援は続けるのか。

答 ①平成21年度の計画

では6千人、実績は4,

325人。平成22年度の

計画では1万4千人、実

績は2月末までに9,1

75人で、計画より下回

っており財政状況も同様

である。

②平成23年1月からの利

用料の値下げに伴い、そ

の差額については財政支

援は致し方ないと考え

る。



林 茂 議員

地元業者に町発注の仕事 学校施設耐震補強工事には町内業者の方も 協力いただいている

問 今、不況をもちに受けているのが中小零細業者である。

住宅リフォーム助成の

実施、町の施設の修繕な

ど地元業者に発注するこ

と。

①小規模登録制度の登録

件数、工事の発注件数と

その金額は。

②随意契約の発注件数と総額、受注業者数は。

③一番受注が多い業者の受注件数とその額は。

④藍住中学校の改築工事、南北両幼稚園の改修

工事は本体工事と電気、

空調、水道工事などは分

離発注を行い、地元業者

に優先発注すること。

に優先発注すること。

藍住中学校の荒れの認識と 対策は 現在の藍中は決して荒れた学校ではない

問 荒れているとよく聞

く。小学校高学年の母親

が藍中に行かせたくない

との悲痛な声、どうすれ

ばいいのかという声も耳

にする。

①教室の授業の成立状況

は。

②不登校生の人数とその

理由は。

③暴力事件、刑事事件になつた件数は。

④校舎の破損状態は。

答 ①問題行動を繰り返す生徒は皆無ではない

が、圧倒的多数の生徒

はまじめに学んでおり、

授業も整然と行われている。

②藍中が17人、東中が16

人、小学校が12人。専門

のカウンセラーを採用

し、子供たちのケアに当

たりたい。

③刑事事件等は5件。

④平成22年度のガラス等

の破損については、平成

21年度と比べて大幅に減

少している。

その他の質問

◆公共下水道優先から合併浄化槽へ



江ノ口新居須線と徳島北環状線の交差点

商工業振興について

ゆめタウンの進出は藍住町独自の景気対策

問 ①長引く不況や大手企業の出店により町内商工業者は大打撃を受けている。商工業者に対して町独自の景気対策はどのようなにしているか。

②昨年商工会が実施し5千5百万円を発行し今年は1億1千万円を発行することになっているプレミアム商品券あいプラスカードについて、今後とも町として補助していくのか。

③ゆめタウンは工事が着々と進み年内オープンと

のこと、テナントを含む従業員数は2千人ぐらいたのことであったが、その概要はどのようなになっているか。また、今でも夕方渋滞が続いているミニストップとコーナンの間の交差点と千鳥橋の右折対策は県と協議していくとのことであるが、どうなっているのか。

答 ①町民の雇用を確保し、町内の経済活動が活況を呈するためにも、ゆめタウンの進出は大変効果があると確信している。またプレミアム商品券を活用した町内既存事業者への活性化補助事業も有効な景気対策であると考えている。

②平成23年度予算には補助金として800万円を計上している。平成24年



小川 幸英 議員

予算書について

限られた紙面中で
分かりやすい内容に
なるよう検討

問 町民に周知する予算書は毎年広報あいずみに掲載されているが、専門用語が多くわかりにくいとの声を聞く。本年度の重点課題等、もっと仕事の内容が町民に伝わる予算書を作ってはどうか。

答 他市町ではホームページ

ジを利用し、グラフや写真を用いて分かりやすく説明した予算説明書を作成し、公表している自治体もある。広く町民の皆さんに知っていただくためにも工夫を凝らし、分かりやすい内容になるよう編さんに努めたい。

その他の質問

- ◆ 農業振興について
- ◆ 土砂置き場について
- ◆ 公共施設の耐震について

町内歩道の整備について 町道江ノ口新居須線の状況

問 町内歩道において凹凸がある危険箇所が何か所もある。子供の登下校はもろろんのこと最近の健康ブームで朝や夜間ウォーキングをしている人が多い。町内歩道の整備を早急に進めるべきと思

うがどうか。

答 改良ができる箇所については、ほぼ一度は手をつけている。不備・支障がある点については直していききたい。

度以降については、商工会が発行するのであれば補助は継続したい。

③ゆめタウン徳島の雇用者は1,500人規模であり、町民の方を最優先して雇用していただくよう今後も働きかけたい。

徳島環状線と町道江ノ口新居須線の交差点は、それぞれ右折車線の設置が決定された。千鳥橋交差点については改良計画はない。

建設産業常任委員会報告

3月14日、町道の路線認定についての現場視察を行った後、付託された7議案について審査を行った。

平成23年度予算の内、地籍調査事業費のパンフレット印刷代と折込手数料についての質問に対し、対象地区の方に郵送又は折込で案内する予定

であるとの説明であった。また商工業振興費の内、プレミアム商品券発行補助金について再来年度以降の予定はとの質問に、未定であるとのことであった。

以前、奥野のトヨタカローラ付近の歩道拡幅を今年3月までには完成したいとの答弁があったが、どうなっているのかとの質問に、今年の年末までには完成したいとのことであった。

吉元クリーニングから中央団地集会所までの道路整備についての質問に、今のところは考えていないとのことであった。

街灯の新設件数と1基あたりの費用についての質問に、新設は全部LEDで35基、1基あたり2万円であるとのことであった。これに関連して、新設の柱も町が建てたのかとの質問に、N T T柱と電信柱を使用しているとのことであった。

側溝が割れないようにするためのヘラストライトは何メートルで入れるのかとの質問に、10メートルとのことであった。これに対し、現場視察した中にクラックが入っている箇所があったので確認してほしいとの意見や、

工事の際、側溝にフタをしないとバラスが入り後で側溝清掃費を町が負担しなければならぬので厳しく指導した方がいいとの意見もあった。

町内の建設関係工事について町内業者にまんべんなく発注しているのかとの質問に、道路の補修など随意契約の範囲内の工事は、工事箇所の地元

の業者の方に発注するようにしているとのことであった。

下水道事業について、今までの接続件数とこの内の町有施設の数についての質問に、2月末現在で107件で、町有施設は昨年度が15件、本年度が3件の計18件とのことであった。藍住町における加入促進のための計画はとの質問に、財源問題もあるので検討したいとの答弁であった。また下水道事業の町債の金利について質問があり、現在は1.7%であるとのことであった。

厚生常任委員会報告

3月10日に開催し、付託された12議案について審査を行った。

平成23年度予算の内、社会福祉費の福祉に関する条例に基づく給付費について、高齢者・母子家庭等に12月に1件7千円交付する福祉手当であるとの説明があった。

地域福祉基金事業費について、交付先とその趣旨はとの質問に、社会福祉協議会に委託し、7地区協の活動、紙おむつ配付事業等を行っている

の説明であった。高齢者生活支援ハウス運営事業について、委託事業で低所得の高齢者が居住する施設の運営費とのことであった。

ゲートボール場用地借上料に関し、場所は東部老人憩いの家が1つ、藍翠苑関係が2つとのことであった。

児童福祉費の使用料及び賃借料について、プレハブの規模、場所、スペースはあるかとの質問に、西部児童館でスペースはあるとのことであった。

児童館施設管理委託料が前年より1,200万円増えた理由について、西部児童館と障害児対応の加配による人件費増額のためとの説明があった。

救急医療対策補助金の交付先については、町が救急医療受入れ体制をとっている病院へ負担金を支払っているとのことであった。

自殺予防業務委託料については、傾聴ボランティア

の養成など相談事業を予定しているという説明があった。

町有墓地清掃委託料に関して、町有墓地の数・清掃についての質問に、約17箇所除草等がひどい所はシルバー人材センターに除草を委託しているとの説明があった。

介護保険事業の歳入で、2号被保険者の保険料の計上先はとの質問に、4款・支払基金交付金であるとのことであった。

後期高齢者医療事業の一般管理費を598万円計上しているがその管理はとの質問に、保険料の納付通知書印刷や郵送料、保険料算出システムの保守管理料等であるとの説明があった。

藍寿苑デイサービス事業の減額については、最近民間のデイサービス施設が増えているためである。また職員数については、介護員が臨時職員2名、正規職員2名、看護士1名とのことであった。



現場視察する建設産業常任委員

3月18日開催し、付託された6議案について審査を行いました。

藍住町税条例の一部改正について、固定資産税を課する家屋の特定付帯設備について、家屋に付随する床、壁、天井、その他附属設備で、壊さなければ取れない物のことであるとの説明であった。

北幼稚園・北小学校の駐車場用地購入に関し、学校と駐車場の距離は、約150mであるとのことであった。また設計にかかる時は地元の方にも相談をとの意見があった。

藍中北校舎の改築工事に関する補助金について、約1億5千万とのことであった。

これに対し、テナントはいつ改造したのか分からないのではとの質問があり、償却資産申告書の提出が無くなった段階で調査し、次の所有者等を検索できるとのことであった。

北・南小学校については、小学校総務費の中で78万円の予算を組んでいるとのことであった。

藍中プールの工事費用については1億2千万円とのことであった。中学校の水泳は必修科目かとの質問には、必修科目ではないが水泳の機会も与えてあげたいと思っているとのことであった。

平成23年度予算の納税貯蓄組合補助金について、事務費として1組合あたり2万円を予算計上しているとのことであった。

学校にかかわる修繕や備品購入について、校長に一定の裁量権があるのかとの質問に、教育委員会が入札・契約しているが、学校に入っている修繕費については学校で執行しているとのことであった。

教育総務費の臨時雇賃金2,749万4千円については、外国語指導助手2名、青少年対策監、小・中6名分の特別支援員、事務補佐員の方であるとの説明があった。

外国人住基連携対応システム等業務委託料につ

いては、総務省でまだ議論されており、5千万ぐらいであろうということ

であった。

平成23年 第1回臨時議会

4月27日開催の議会臨時会において次の7議案が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。

- 平成22年度藍住町一般会計補正予算の専決処分の報告
歳入歳出それぞれ2億600万円増額し、総額93億5,800万円とする
- 藍住町国民健康保険税条例の一部改正についての専決処分の報告
国保税の限度額を改正
- 藍住町国民健康保険条例の一部改正についての専決処分の報告
出産一時金の額を35万円から39万円に改正
- 職員等の旅費に関する条例の一部改正についての専決処分の報告
宿泊費が不要の施設を利用した場合などの旅費についての改正
- 藍住北幼稚園遊戯室耐震改築及び園舎改修工事の請負契約の締結
請負額 2億4,024万円
請負業者 大日本土木株式会社 四国支店
- 藍住南幼稚園遊戯室耐震補強及び園舎改修工事の請負契約の締結
請負額 1億6,695万円 請負業者 大徳建設株式会社
- 公共下水道第六処理分区南部支線管渠工事(第2工区)の請負契約の締結
請負額 5,530万1,400円
請負業者 東亜建設工業株式会社 四国支店

本会議を傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴日は、先着順に受け付けていますので、事務局までお気軽にお越しください。定員には限りがありますので、ご了承ください。

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。

議会や町政に関するご意見をお寄せください。

投稿規定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③字数は500字以内。
- ④投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

わたしの一言

乙瀬 森 たけしさん

東日本大震災と原発事故(放射性物質で食料が汚染)で被災された2万4千人を超える死者行方不明者、35万の着のみ着のまままで窮乏生活を余儀なくされている被災者の方に哀悼と心からのお見舞いを申し上げます。

私は議員を辞してから時々議会傍聴をしています。議会では真剣に議論がされていますが、時には私情が優先している時もあります。3月議会では震災対策、行財政改革、道路整備、保育行政民営化等の議論がされました。行財政改革は限られた財政状況の中で町民の命と暮らし福祉行政をどう守るかであり、震災対策では、今、国内最大の震災を全国民が心配し全国の自治体が支援に立ち上がっている中で藍住町として何をどの様にするか具体的に(仮に安任、原団地の空部屋を修復し受け入れる)考えるべきです。今回の震災で避難場所となったのは学校施設が中心です。答弁は学校施設の耐震化、藍住中学校旧校舎の改築を早急に行うとの答弁です。その他避難場所として公共の建物の整備も急務です。



耐震工事が完了した藍住中学校南校舎

最後に、広報が発行される頃には震災の復旧が前進している事を願っています。

議会のうごき

2月

- 2日 徳島県市町村トップセミナー(徳島市)
- 3日 徳島県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会(徳島市)
- 14日 農業振興地域整備促進協議会
- 18日 板野郡町議会議長会定例会(北島町)

3月

- 8日 3月定例議会開会
- 8日 議会全員協議会
- 10日 厚生常任委員会
- 11日 中学校卒業式
- 14日 建設産業常任委員会
- 16日 3月定例議会一般質問
- 17日 小学校卒業式
- 18日 徳島環状線(川内工区)開通式(徳島市)
- 18日 総務文教常任委員会
- 23日 板野町正副議長就任挨拶
- 24日 教職員離任式

3月定例議会閉会

- 25日 3月定例議会閉会
- 26日 議会全員協議会
- 26日 板野東部消防組合第2消防署落成式
- 28日 板野西部青少年補導センター組合議会(板野町)
- 28日 板野東部消防組合議会(北島町)

4月

- 1日 教職員着任式
- 11日 小・中学校入学式
- 27日 第1回臨時議会
- 28日 議会全員協議会
- 28日 議会だより編集委員会
- 28日 板野郡町議会議長会定例会



稲苗(板野郡農協)

編集後記

3月定例会が始まった矢先の11日午後三時前、三陸沖海底を震源とする大地震が発生した。M9.0。最大震度7。4月5日現在、死者は12,000人を超え、行方不明者は15,000人以上。しかも、そのほとんどが巨大津波による犠牲者で、原発事故の被害も日を追って深刻になっている。まさにトリプルパンチだ。

自衛隊だけでなく、全国各地から支援も届いているが、被害の実態すら把握できないのが実情のようだ。

しかし、私たちの先祖はあの敗戦から立ち上がり、焦土と化した国土を見事に復興させた。今こそ「心を一つ」にして、先人に学びたいものだ。

議会だより編集委員会

- 委員長 奥村晴明
- 副委員長 矢部秀行
- 委員 佐野慶一